

内町地区 地震・津波避難支援マップ

平成26年11月

裏面もご覧下さい。

津波避難ビル

津波避難ビルとは、津波の恐れがなく、周囲の安全が確認されるまでの数時間に限って避難する場所であり、長期の避難生活を送る場所(避難所)ではありません。避難所を兼ねている内町小学校と幸町会館には一定量の飲料水・食料の備蓄がありますが、他の津波避難ビルには備蓄はありません。(裏面補足①)

『徳島市指定津波避難ビル』は、①鉄筋コンクリート構造、②新耐震設計基準適合、③24時間利用可能な要件を全て満たし、徳島市が所有者と協定を結んだ建物です。夜間・休日に施錠される建物には「かぎ保管庫」が付けられています。

『内町まちづくり協議会津波避難ビル』は要件①②を満たす建物で、内町まちづくり協議会が所有者の協力を得た建物です。利用可能時間・場所はビル名称の下に示されています。

津波避難ビルや緊急避難場所の名称の()内の数値は、想定されている津波の浸水深に対して、安全な高さを有するフロアの避難スペースの収容人数です。

収容力の大きな内町小学校、城東高等学校、および幸町会館(内町コミセン)には、建物倒壊や液状化などが発生する地震災害時において、徒歩20分以内で到達できる範囲の目安(半径500mの円)を付けています。

徳島市東沖洲のマリンピア東端では、避難に影響が開始するのは地震発生後41分です。内町地区の浸水深は最大で3m程度と想定されています。

